

エクスパンデッド・シネマ再考

Japanese Expanded Cinema Revisited

2017年8月15日^火～10月15日^日 TOP MUSEUM

■開館時間=10:00～18:00(木・金は20:00まで。ただし、8月17日(木)、18日(金)、24日(木)、25日(金)は21:00まで開館) ※入館は閉館の30分前まで ■休館日=毎週月曜日(9月18日(月・祝)、10月9日(月・祝)は開館、9月19日(火)、10月10日(火)は休館) ■主催=東京都 東京都写真美術館 ■協賛=凸版印刷株式会社
■会場=東京都写真美術館 地下1階展示室 ■観覧料=一般 600(480)円/学生 500(400)円/中高生・65歳以上 400(320)円
ただし、8月18日(金)、25日(金)の18:00～21:00はサマーナイトミュージアム割引(学生・中高生無料/一般・65歳以上は団体料金) ※各種割引の併用はできません。
※()は20名以上の団体料金 ※小学生以下、都内在住・在学の中学生および障害をお持ちの方とその介護者は無料 ※第3水曜日は65歳以上無料

「エクспанデッド・シネマ(拡張映画)」は、従来の映画館等でのスクリーンへの投影とは異なった方法で上映される映画です。この上映方式は、1960年代半ば頃から欧米を中心に、美術家や実験映像作家によって展開されていきます。それは、今日では既に定着しているマルチプロジェクションやループ上映、ライブ・パフォーマンスをはじめ、同時代のインターメディアやアート&テクノロジーの状況と呼応しながら、映像がもつ多様性を再発見していく試みでした。本展では、「エクспанデッド・シネマ」の誕生から様々な実験を繰り広げた日本の作品に着目し、その独自性と先見性を当館の映像コレクションを中心に検証していきます。

[出品作家] 飯村隆彦、シュウゾウ・アツチ・ガリバー、おおえまさのり、松本俊夫、城之内元晴、真鍋博、佐々木美智子ほか



[左より] ■飯村隆彦《リリパット王国舞踏会》1964/66年 ダブル・プロジェクション(16ミリフィルム) 個人蔵 ■シュウゾウ・アツチ・ガリバー《シネマティック・イリュミネーション》1968-69年 インターメディア 東京都写真美術館蔵 ■松本俊夫《つぶれかかった右目のために》1968年 マルチプロジェクション(16ミリフィルムより変換) 東京都写真美術館蔵

エクспанデッド・シネマ再考

Japanese Expanded Cinema Revisited

[関連イベント]

【アーティストトーク】

- 2017年8月19日(土) 14:00~15:30
飯村隆彦(出品作家)
 - 2017年8月20日(日) 14:00~15:30
おおえまさのり(出品作家)
 - 2017年8月26日(土) 14:00~15:30
シュウゾウ・アツチ・ガリバー(出品作家)
 - 定員=各回50名
 - 会場=東京都写真美術館 2階ロビー
- ※当日10時より1階総合受付にて整理券を配布します。

【展覧会担当学芸員によるギャラリートーク】

会期中の第2・第4金曜日16:00より担当学芸員による展示解説を行います。

- 展覧会チケット(当日消印)をご持参のうえ、地下1階展示室入口にお集まりください。

【8ミリ自家現像ワークショップ】

8ミリフィルム(モノクロ)での撮影から現像、上映までを全2日間で行う制作ワークショップを開催します。

- 2017年9月23日(土・祝)、24日(日) 各日10:15~19:00
- 講師=石川亮(東京国立近代美術館フィルムセンター技術員、映像作家)、郷田真理子(フィルム技術者、株式会社IMAGICAウエスト)
- 定員=12名(事前申込制、応募者多数の場合は抽選)
- 対象=一般大人
- 参加費=5,000円

※最新情報につきましては美術館ホームページをご確認ください。
※事業はやむを得ない事情で変更することがございます。あらかじめご了承ください。

第10回恵比寿映像祭 国際シンポジウム



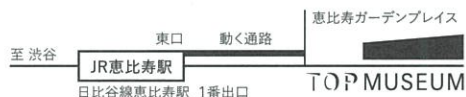
インヴィジブル、インターメディア、エクспанデッド—映像の可能性(仮称)

来年2月の第10回恵比寿映像祭開催を記念するプレイベントとして、恵比寿映像祭を読み解くための、国際シンポジウムを開催します。

- 2017年10月9日(月・祝) 14:00~17:00(13:45開場)
英日同時通訳付
 - 協力=明治学院大学言語文化研究所
 - 会場=東京都写真美術館1階ホール
 - 定員=190名(入場無料、整理番号順入場/自由席)
 - 出演=ブランデン・W.ジョセフ(コロンビア大学教授、美術研究者)、平沢剛(明治学院大学研究員、映画研究者)、ジュリアン・ロス(ロッテルダム国際映画祭プログラマー、映画研究者)
- ※当日10時より1階ホール受付で入場整理券を配布します。
- 主催=東京都/東京都写真美術館・アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)/日本経済新聞社

東京都写真美術館

TOKYO PHOTOGRAPHIC ART MUSEUM



〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3恵比寿ガーデンプレイス内
Tel 03-3280-0099 www.topmuseum.jp
JR恵比寿駅東口より徒歩約7分、東京メトロ日比谷線恵比寿駅より徒歩約10分
当館には駐車場はございません。近隣の有料駐車場をご利用ください。